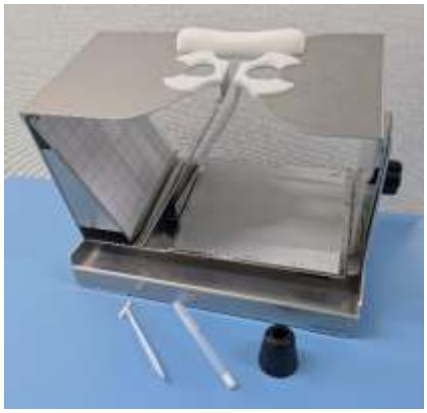
機械器具 22 検眼用器具
一般医療機器 複視診断計(JMDN コード 15826000)

オルテコミー

【形状・構造及び原理等】
＜形状・構造等＞
下記に外観を示す。



構成
・本体
・固視目標紙(付属品)
・検査用紙(付属品)
・指し棒(付属品)
・専用ペン(付属品)

仕様
検査距離:200mm
固視目標紙上の 1 目盛の視角度:5°
視標点の総数:9 個

寸法
本体:210mm (D)×403mm (W)×289mm (H)

＜原理＞
被験者が両眼で本装置を覗きこんだ時、片眼は装置中央の傾斜部に配置されたミラーの反射により装置壁面が見え、他眼は装置底面が見える。
装置壁面には、左右上下に各 5 度間隔で引かれた水平線および垂直線による格子上のうち、中央の基点から各 15 度の位置に視標を印字した固視目標紙を設置する。装置底面には、上記固視目標紙と同じ格子状の印刷が施された検査用紙を設置する。検査用紙は格子印刷が目視できないように透け止め印刷された感圧紙が積層された 2 層式の専用検査用紙を使用する。被験者は、装置を両眼で覗き、片眼で固視目標を、他眼で検査用紙を目視する。検査者は、装置壁面に設置された固視目標紙に印字された各視標を中央の基点から順に示す。被験者は、示された視標の位置を底面に設置された 2 層式記録用紙上で指し棒を用いて指し示し、検査者がその位置を専用ペンで記録する。このとき、検査用紙は 1 層目の白紙状でであるため、眼位のずれは自覚されず、その偏位は是正されずにあらわされる。検査者は、検査用紙の 2 層目の感圧紙に記入された点を記録して、眼位図(ヘス・チャート)を作成する。

【使用目的又は効果】
＜使用目的＞
本装置は、複視(1 つの物体が視皮質によって 2 つの物体に見える視覚症状)等の診断(両眼視機能検査、眼筋麻痺)に用いる

【使用方法等】
詳細は取扱説明書を参照

＜使用方法に関連する使用上の注意＞
(1) 検査、訓練時は回転部をハンドルロック及びゴムストッパーでしっかりと固定すること
(2) ミラー部に直接手で触れないこと。ミラーの歪みが生じ、検査結果が変化する可能性があります。

【使用上の注意】
＜重要な基本的注意＞
(1) 本装置の使用者は、医師、医師の指示を受けた人及び視能訓練士だけに限定すること。本装置の使用は、如何なる場合も医師及び視能訓練士の指示に基づいて行うこと。
(2) 被検者は幼少児が対象となることがあるため、検査の説明を被検者に十分行なうこと。

【保管方法及び有効期間等】
＜保管条件＞
室温(＋1～＋30℃)で保管すること。
水濡れや結露のなきこと。
直射日光を受ける環境を避けること。

【保守・点検に係る事項】
ミラー部のほこりや汚れは市販のガラスクリーナーで定期的に拭き取ること。
高濃度の除菌・殺菌剤の使用を避けること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ジャパン フォーカス株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18
TEL (03)3815-2611　FAX (03)3815-7284

製造業者

コミー株式会社
〒332-0034 埼玉県川口市並木 1-5-13
TEL (048)250-5311　FAX (048)250-5318